



CHAPTER 3

EnergyWise CLI コマンド

- 「clear energywise」 (P.3-2)
- 「debug energywise」 (P.3-4)
- 「energywise (グローバル コンフィギュレーション)」 (P.3-6)
- 「energywise (インターフェイス コンフィギュレーション)」 (P.3-10)
- 「energywise domain」 (P.3-15)
- 「energywise query」 (P.3-18)
- 「show energywise」 (P.3-23)
- 「snmp-server enable traps energywise」 (P.3-30)



(注)

ここで挙げる例では、*interface-id* の形式は、タイプ スロットまたはモジュール番号/ポート番号です (例 : gigabitethernet 0/5)。インターフェイスを指定するには、お使いのデバイスのソフトウェア マニュアルを参照してください。

clear energywise

検出されたドメインメンバーのネイバーと IP エンドポイントを EnergyWise データベースから削除するには、**clear energywise neighbors** 特権 EXEC コマンドを使用します。

clear energywise {endpoints [all | cached] | neighbors}

構文の説明

| | |
|---------------------------------|---|
| endpoints [all cached] | 接続された EnergyWise-capable IP エンドポイントをクリアします。エージェントを実行していない PoE デバイスは削除されません。 <ul style="list-style-type: none"> (任意) all : 動作可能な、および動作不可能な (キャッシュされた) すべての EnergyWise エンドポイントを削除します。 (任意) cached : 動作不可能な (キャッシュされた) EnergyWise エンドポイントのみを削除します。 |
| neighbors | 検出されたドメインメンバーのネイバーを EnergyWise データベースから削除します。検出されたドメインメンバーが削除されると、ローカルドメインメンバーは接続されたすべてのネイバーの再検出をただちに開始します。 |

コマンドデフォルト

なし。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 最初の EW バージョン | 変更内容 |
|--------------|--------------|---|
| 12.2(33)SX14 | 2 | このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『 <i>Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2</i> 』を参照してください。 |
| 12.2(50)SE | 1 | このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(53)SE2 | 2 | このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。 |
| 12.2(58)SE | 2.5 | endpoint [all cached] キーワードは、Catalyst 3750-X、3750-E、3750、3560-X、3560-E、3560、2960 スイッチに追加されました。 |
| 15.0(1)M2 | 2 | このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第2世代サービス統合型ルータ) で導入されました。 |

使用上のガイドライン

ネイバーとエンドポイントがデータベースから削除されたことを確認するには、**show energywise neighbors** 特権 EXEC コマンドを使用します。



(注) ネイバーがスタティックに追加された場合は、**clear energywise neighbors** 特権 EXEC コマンドの影響を受けません。

例

次の例では、**clear energywise endpoints** 特権 EXEC コマンドの使用前と使用後の EnergyWise の子を示します。

エンドポイントのクリア前：

```
DomainMember# show energywise children
Module/
Interface  Role          Name          Usage      Category  Lvl  Imp  Type
-----  ----  -----  -----  -----  ---  ---  ----
          Switch        Switch        94.0 (W)   consumer  10   100  module
          Parent        Endpoint      12.0 (W)   consumer  10    50
Gi0/12
endpoint
Gi0/14    IP Phone 7960    SEP000E833CB4E3    1.88 (W)   consumer  10    35   PoE
Gi0/15    IP Phone 7960    SEP0011920E0A05    1.775 (W)  consumer  10    35   PoE
```

エンドポイントのクリア：

```
DomainMember# clear energywise endpoints all
Cleared all energywise endpoints
```

エンドポイントのクリア後：

```
DomainMember# show energywise children
Module/
Interface  Role          Name          Usage      Category  Lvl  Imp  Type
-----  ----  -----  -----  -----  ---  ---  ----
          Switch        Switch        94.0 (W)   consumer  10   100  module
Gi0/14    IP Phone 7960    SEP000E833CB4E3    1.88 (W)   consumer  10    35   PoE
Gi0/15    IP Phone 7960    SEP0011920E0A05    1.775 (W)  consumer  10    35   PoE
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|----------------------------------|-------------------------|
| show energywise neighbors | EnergyWise のネイバーを表示します。 |

debug energywise

EnergyWise エンドポイントと管理ステーションをデバッグするには、**debug energywise** 特権 EXEC コマンドを使用します。

debug energywise {debug | discovery | endpoint | ha | management | packet | query | trace | wol}

構文の説明

| | |
|-------------------|---|
| debug | ドメイン上の無効なシーケンス番号や通信エラーなどのエラーを表示します。 |
| discovery | すべての EnergyWise 検出情報を表示します。 |
| endpoint | クライアントまたはエージェントを実行する EnergyWise エンドポイントの情報を表示します。接続されたエンドポイントの、一致しないドメイン名、秘密キー、およびシーケンス番号の検出に役立ちます。 |
| ha | ハイアベイラビリティ (HA) 機能を持つデバイスの EnergyWise HA 情報を表示します。 |
| management | 認証失敗と、電力管理アプリケーションを実行する EnergyWise 管理ステーションに関する情報を表示します。 |
| packet | EnergyWise パケットのトレース情報を表示します。 |
| query | クエリーが開始されるデバイスに関するクエリー情報を表示します。 |
| trace | クエリーが開始されるデバイスに関するすべての EnergyWise プロセスに関する情報を表示します。 |
| wol | クエリーが開始されるデバイスに関する Wake on LAN (WoL) クエリー情報を表示します。 |

コマンド デフォルト

EnergyWise のデバッグ機能はディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 最初の EW バージョン | 変更内容 |
|--------------|--------------|--|
| 12.2(33)SX14 | 2 | このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。 |
| 12.2(53)SE1 | 2.5 | このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(53)SE2 | 2 | このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(58)SE | 2.5 | ha 、 packet 、および trace キーワードは、Catalyst 3750-X、3750-E、3750、3560-X、3560-E、3560、および 2960 スイッチに追加されました。 |

| リリース | 最初の EW バージョン | 変更内容 |
|-----------|--------------------|---|
| 15.0(1)M2 | 2 | このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第2世代サービス統合型ルータ) で導入されました。 |
| 15.0(2)SE | 2.8 | discovery、query、および wol キーワードは、Catalyst 2900、3500、および 3700 スイッチに追加されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Version 2.8』を参照してください。 |



使用上のガイドライン

注意

デバッグ出力は CPU プロセスで高プライオリティが割り当てられているため、デバッグ出力を行うとシステムが使用できなくなることがあります。したがって、**debug** コマンドを使用するのは、特定の問題のトラブルシューティング時、またはシスコのテクニカル サポート担当者とともにトラブルシューティングを行う場合に限定してください。**debug** コマンドは、ネットワーク トラフィックが少なく、ユーザも少ないときに使用するのが最良です。デバッグをこのような時間帯に行うと、**debug** コマンド処理のオーバーヘッドの増加によりシステムの使用に影響が及ぶ可能性が少なくなります。

undebug energywise コマンドは **no debug energywise** コマンドと同じです。

スタック可能スイッチでデバッグ機能をイネーブルにした場合、デバッグ機能はスタック マスタでのみイネーブルになります。スタック メンバーのデバッグ機能をイネーブルにするには、**session switch-number** 特権 EXEC コマンドを使用してセッションをスタック マスタから開始します。スタック メンバーのコマンドライン プロンプトに **debug** コマンドを入力します。また、スタック マスタで **remote command stack-member-number LINE** 特権 EXEC コマンドを使用して、セッションを開始する前にメンバー スイッチのデバッグ機能をイネーブルにすることもできます。

energywise (グローバル コンフィギュレーション)

ドメイン メンバーまたはエンドポイントに EnergyWise を設定する場合、**energywise** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。EnergyWise をディセーブルにし、EnergyWise コンフィギュレーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

energywise allow query {save | set}

energywise endpoint security {none | shared-secret [0 | 7] password}

energywise {importance importance | keywords word,word,... | level level | name name | neighbor {hostname| ip-address} udp-port-number | role role}

energywise management security shared-secret [0 | 7] mgmt-password [port tcp-port-number]

energywise proxy mapping map_name word

no energywise {allow query {save | set} | endpoint | importance | keywords | level | management | name | neighbor | proxy | role}

構文の説明

allow query {save | set} ドメイン メンバーを、管理ステーションまたは別のドメイン メンバーからのクエリーに応答するように設定します。

- **save** : 実行コンフィギュレーションを保存するクエリーに応答します。
- **set** : 電力レベルまたは EnergyWise 属性を変更するクエリーに応答します。

endpoint security {none | shared-secret [0 | 7] password} エンドポイントのセキュリティ モードを設定します。

- **none** : セキュリティをディセーブルにします。
 - **shared-secret** : 接続されているドメイン メンバーとのセキュアな通信を確保するためのパスワードを使用します。
 - (任意) **0** : プレーンテキストのパスワードを使用します。
 - (任意) **7** : 非表示のパスワードを使用します。
- 0** と **7** のいずれも入力しない場合は、デフォルト値 **0** が使用されます。
- **password** について
 - 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。
 - 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。

importance importance 重要度を設定します。

範囲は 1 ~ 100 です。

keywords word,word,... 少なくとも 1 つのキーワードを割り当てます。

複数のキーワードを割り当てる場合は、各キーワードをカンマで区切ります。キーワードの区切り文字としてスペースを使用しないでください。

- 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。
- 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。

level level 電力レベルを設定します。

指定できる範囲は 0 ~ 10 です。

| | |
|--|--|
| name <i>name</i> | EnergyWise 固有の名前を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。 |
| neighbor { <i>hostname</i> <i>ip-address</i> } <i>udp-port-number</i> | スタティック ネイバーを割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> ドメイン ネーム システム (DNS) のホスト名 (<i>hostname</i>) または IP アドレス (<i>ip-address</i>)。 クエリーを送受信する UDP ポート (<i>udp-port-number</i>)。指定できる範囲は 1 ~ 65000 です。 |
| proxy mapping <i>map_name</i> <i>word</i> | XML ファイルのエイリアスを割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> mapping <i>map_name</i> : XML ファイルのエイリアスを指定します。 <i>word</i> : スイッチのフラッシュ ディレクトリに保存されている正確な XML ファイル名を指定します。 |
| role <i>role</i> | EnergyWise ドメインでのロールを指定します。たとえば、 <i>lobby.b20</i> とします。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。 |
| management security shared-secret [0 7] <i>mgmt-password</i> [<i>port</i> <i>tcp-port-number</i>] | ドメインと通信する管理ステーションの管理パスワードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> (任意) 0 : プレーンテキストのパスワードを使用します。 (任意) 7 : 非表示のパスワードを使用します。 0 と 7 のいずれも入力しない場合は、デフォルト値 0 が使用されます。 <i>mgmt-password</i> について <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。 (任意) port <i>tcp-port-number</i> : 管理アクセス用の TCP ポートを指定します。指定できるポート番号の範囲は 1025 ~ 65535 です。 |

コマンド デフォルト

次に、さまざまなパラメータのデフォルトの設定または値を示します。

- EnergyWise はディセーブルになっています。
- ドメイン メンバーのインターフェイスは、**save** クエリーに応答しません。
- インターフェイスは、**set** クエリーに応答します。
- エンドポイントおよび管理パスワードは設定されません。
- 重要度は 1 です。
- キーワードは定義されません。
- 電力レベルは 10 です。
- tcp-port-number* は 43440 です。
- 名前はホスト名です。
- ネイバーは割り当てられません。

- ロールはモデル番号です。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 最初の EW バージョン | 変更内容 |
|--------------|-----------------|--|
| 12.2(33)SXI4 | 2 | このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。 |
| 12.2(50)SE | 1 | このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SE | 2 | Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチ： <ul style="list-style-type: none"> • management udp-port-number キーワードは management security shared-secret [0 7] shared-secret port tcp-port-number キーワードに替わりました。 • allow query {save set} キーワードが追加されました。 |
| 12.2(53)SE2 | 2 | このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | Catalyst 4500 スイッチの出力： <ul style="list-style-type: none"> • management udp-port-number キーワードは management security shared-secret [0 7] shared-secret port tcp-port-number キーワードに替わりました。 • allow query {save set} キーワードが追加されました。 |
| 15.0(1)M2 | 2 | このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第 2 世代サービス統合型ルータ) で導入されました。 |
| 15.0(2)SE | 2.8 | proxy mapping map_name word キーワードは、Catalyst 2900、3500、および 3700 スイッチに追加されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Version 2.8』を参照してください。 |

使用上のガイドライン

ドメインにドメイン メンバーを追加すると、そのドメイン メンバーで EnergyWise がイネーブルになります。

ドメインに PoE スイッチを追加すると、そのスイッチと PoE ポート上で EnergyWise がイネーブルになります。

非表示の（暗号化された）パスワードを設定する場合は、**energywise management security shared-secret 7 mgmt-password [port tcp-port-number]** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力する前に、**service password-encryption** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力します。

no energywise level コマンドを入力すると、ドメイン メンバーは電力レベルをすぐにデフォルトに変更しません。電力レベルは、ドメイン メンバーの再起動時、または **energywise level level** コマンドを入力したときに変更されます。

energywise proxy mapping map_name word コマンドを設定する場合は、使用する XML ファイルが、各スタック メンバーにインストールされていることを確認します。

例

次の例では、EnergyWise をイネーブルにし、ドメインに IP Phone を割り当て、ドメイン パスワードと管理パスワードを設定する方法を示します。

```
DomainMember# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
DomainMember (config)# energywise domain cisco security shared-secret cisco protocol udp
port 43440 ip 2.2.4.30
DomainMember (config)# energywise importance 50
DomainMember (config)# energywise keywords lab1,devlab
DomainMember (config)# service password-encryption
DomainMember (config)# energywise management security shared-secret 7 cisco port 60500
DomainMember (config)# energywise name Device01
DomainMember (config)# energywise neighbor member-21 43440
DomainMember (config)# energywise role role.labaccess
DomainMember (config)# energywise allow query save
DomainMember (config)# end
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| show energywise | EnergyWise の設定とステータスを表示します。 |
| show energywise domain | ドメイン メンバーまたはエンドポイントが属しているドメインを表示します。 |
| show energywise recurrences | 繰り返しイベントの設定とステータスを表示します。 |

energywise (インターフェイス コンフィギュレーション)

ドメイン メンバー ポートで EnergyWise を設定するには、**energywise** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。EnergyWise をディセーブルにし、EnergyWise コンフィギュレーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
energywise [activitycheck | allow query set | importance importance | keywords word,word,... |
level level [recurrence importance importance {at minute hour day_of_month month
day_of_week | time-range time-range-name}] | name name | role role]
```

```
energywise proxy mapping map_name protocol protocol host host discovery-interval interval
port port
```

```
energywise proxy protocol protocol version version
```

```
no energywise [activitycheck | allow query set | importance | keywords [word,word,... ] | level
[level recurrence [ importance importance {at minute hour day_of_month month day_of_week
| time-range time-range-name}]] | name name | role role]
```

```
no energywise proxy mapping map_name protocol protocol host host discovery-interval interval
port port
```

```
no energywise proxy protocol protocol version version
```



(注)

ここで挙げる例では、*interface-id* の形式は、タイプ スロットまたはモジュール番号/ポート番号です (例 : gigabitethernet 0/5)。インターフェイスを指定するには、お使いのデバイスのソフトウェア マニュアルを参照してください。

構文の説明

| | |
|------------------------------|--|
| activitycheck | (任意) ポートの電源を切断する前に、PoE ポートに接続している Cisco IP Phone がトラフィックを送信または受信しなくなるまで待機するようにドメイン メンバーを設定します。 (注) ドメイン メンバーでは、IP Phone が保留状態であるかどうかを判断できません。 |
| allow query set | (任意) このコマンドは、インターフェイスが管理ステーションや別のドメイン メンバーからクエリーを受信した場合に、電力レベルおよび EnergyWise 属性を変更するクエリーに応答するようにインターフェイスを設定します。 |
| importance importance | (任意) ポートの重要度を設定します。 範囲は 1 ~ 100 です。 |
| keywords word,word | (任意) ポートに少なくとも 1 つのキーワードを割り当てます。 複数のキーワードを割り当てる場合は、各キーワードをカンマで区切ります。キーワードの区切り文字としてスペースを使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> • 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 • 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。 |

| | |
|--|---|
| level <i>level</i> | (任意) ポートの電力レベルを設定します。 範囲は 0 ~ 10 です。 <ul style="list-style-type: none"> • エンドポイントの電源を切断するには、0 を入力します。 • エンドポイントの電源を投入するには、次のように入力します。 <ul style="list-style-type: none"> – PoE エンドポイントの場合は 10 を入力します。 – PoE エンドポイントでない場合は、1 ~ 10 の電力レベルを入力します。エンドポイントで適切な処置が取られます。 |
| recurrence importance <i>importance {at minute hour day_of_month month day_of_week time-range time-range-name}</i> | (任意) 電源投入または電源切断のイベントをスケジューリングします。 <ul style="list-style-type: none"> • importance importance : エンドポイントの重要度の値が、指定した重要度の値以下である場合に、イベントが発生します。範囲は 1 ~ 100 です。 • at minute hour day_of_month month day_of_week : 繰り返しイベントの時間 (24 時間形式) を cron 形式で指定します。 <ul style="list-style-type: none"> – <i>minute</i> : 指定できる範囲は 0 ~ 59 です。* をワイルドカードとして使用します。 – <i>hour</i> : 指定できる範囲は 0 ~ 23 です。* をワイルドカードとして使用します。 – <i>day_of_month</i> : 指定できる範囲は 1 ~ 31 です。* をワイルドカードとして使用します。 – <i>month</i> : 指定できる範囲は 1 (1 月) ~ 12 (12 月) です。* をワイルドカードとして使用します。 – <i>day_of_week</i> : 指定できる範囲は 0 (日曜日) ~ 7 (日曜日) です。* をワイルドカードとして使用します。 • time-range time-range-name : 繰り返しイベントの時間範囲名を指定します。 イベントにはドメイン メンバーの時間が使用されます。 |
| name <i>name</i> | (任意) EnergyWise 固有のポート名を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 英数字と、#、(、%、!、& などの記号を入力できます。 • 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。 |
| role <i>role</i> | (任意) ドメインでのポートのロールを指定します (例 : <i>lobbyport</i>)。 <ul style="list-style-type: none"> • 英数字と、#、(、%、!、& などの記号を入力できます。 • 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。 |
| mapping <i>map_name</i> | 使用する XML ファイルのエイリアスを参照します。 |
| protocol <i>protocol</i> | デバイスの変換プロトコルを指定します。SNMP デバイスの場合、プロトコルは SNMP です。 |
| host <i>host</i> | SNMP デバイスの IP アドレスを指定します。 |
| discovery-interval <i>interval</i> | ホストおよびポートによって指定された SNMP デバイスからの検出更新のインターバルを秒単位で設定します。 |
| port <i>port</i> | SNMP デバイスの TCP または UDP ポート番号を指定します。 |
| version <i>version</i> | SNMP バージョンを指定します。バージョン SNMPv2c を使用します |

コマンド デフォルト

次に、さまざまなパラメータのデフォルトの設定または値を示します。

- EnergyWise はディセーブルになっています。
- ドメイン メンバーは、ポートの電源を切断する前に、PoE ポートに接続している Cisco IP Phone がトラフィックを送受信しなくなるまで待機します。
- ドメイン メンバーは、電力レベルと EnergyWise 属性を変更するクエリーに応答します。
- 重要度は 1 です。
- キーワードは定義されません。
- 電力レベルは 10 です。
- 繰り返しイベントは設定されません。
- 名前は、ポート名の短縮バージョンになります。たとえば、Gigabit Ethernet 1/0/2 の場合は Gi1.0.2 となります。
- ロールはモデル番号です。
- 検出インターバルは 180 秒です。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 最初の EW バージョン | 変更内容 |
|--------------|--------------------|--|
| 12.2(33)SX14 | 2 | このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。 |
| 12.2(50)SE | 1 | このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SE | 2 | activitycheck 、 allow query set 、および recurrence time-range time-range-name キーワードは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、2960 スイッチに追加されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(53)SE2 | 2 | このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | activitycheck 、 allow query set 、および recurrence time-range time-range-name キーワードは、Catalyst 4500 スイッチに追加されました。 |
| 15.0(1)M2 | 2 | このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第 2 世代サービス統合型ルータ) で導入されました。 |
| 15.0(2)SE | 2.8 | proxy target 、 host host 、 port port 、 mapping map_name 、 discovery-interval interval 、および protocol protocol キーワードが Catalyst 2900、3500、および 3700 スイッチに追加されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Version 2.8』を参照してください。 |

使用上のガイドライン

energywise activitycheck コマンドを使用する前に、「アクティビティ チェック」(P.2-24) を参照してください。

no energywise level コマンドを入力すると、ドメイン メンバーは電力レベルをすぐにデフォルトに変更しません。電力レベルは、ドメイン メンバーの再起動時、または **energywise level level** コマンドを入力したときに変更されます。

繰り返しイベントに対して、cron 形式 (*minute hour day_of_month month day_of_week*) を使用して複数の日付と時間を設定するには、次の操作を行います。

- 値の間にスペースを入れず、**1,3,4,7,8** のようにカンマ (,) を使用して値のリストを指定します。
- **1-6** のように、ダッシュ (-) を使用して値の範囲を指定します (**1,2,3,4,5,6** と同じ)。
- ワイルドカードにアスタリスク (*) を使用します。
- 特定数の値をスキップするには、スラッシュ (/) を使用します。次に例を示します。
 - 15 分おきに発生するイベントの場合は、***/15 * * * *** と入力します。
 - 20 分おきに発生するイベントの場合は、**0-59/3 * * * *** または **0,20,40** と入力します。
 - 毎時間発生するイベントの場合は、***/61 * * * *** と入力します。
 - 3 時間おきに発生するイベントの場合は、*** */3 * * *** または **0,3,6,9,12,15,18,21** と入力します。

energywise level level recurrence importance importance at minute hour day_of_month month day_of_week コマンドで、*day_of_month* および *day_of_week* を指定する方法については、「繰り返し」(P.2-13) を参照してください。

energywise proxy インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを設定する前に、**energywise proxy mapping map_name word** グローバル コンフィギュレーション コマンド設定する必要があります。

SNMP プロキシ用に設定するコミュニティ スtring は、SNMP デバイスに設定されたコミュニティ スtring と一致する必要があります。SNMP デバイス コミュニティ スtring についてシステム管理者に問い合わせてください。

例

この例では、EnergyWise をポートでイネーブルにして設定する方法と、繰り返しイベントを設定する方法を示します。

```
DomainMember# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
DomainMember(config)# service password-encryption
DomainMember(config)# energywise domain cisco security shared-secret cisco protocol udp
port 43440 ip 2.2.4.30
DomainMember(config)# time-range onfirstfloor
DomainMember(config-time-range)# absolute start 0:00 1 August 2009
DomainMember(config-time-range)# periodic weekdays 6:00
DomainMember(config-time-range)# periodic weekend 9:00
DomainMember(config)# time-range offfirstfloor
DomainMember(config-time-range)# absolute start 0:00 1 August 2009
DomainMember(config-time-range)# periodic weekdays 20:00
DomainMember(config-time-range)# periodic weekend 18:00
DomainMember(config)# interface gigabitethernet0/3
DomainMember(config-if)# energywise level 10 recurrence importance 70 time-range
onfirstfloor
DomainMember(config-if)# energywise level 0 recurrence importance 70 time offfirstfloor
DomainMember(config-if)# energywise name floor.1
DomainMember(config-if)# energywise role pc-mgr
DomainMember(config-if)# end
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| absolute | 繰り返しイベントに特定の日時を設定します。 |
| periodic | 繰り返しイベントに週単位の日時を設定します。 |
| show energywise | EnergyWise の設定とステータスを表示します。 |
| show energywise domain | ドメインメンバーまたはエンドポイントが属しているドメインを表示します。 |
| show energywise recurrences | 繰り返しイベントの設定とステータスを表示します。 |
| time-range | 繰り返しイベントの時間範囲に名前を割り当てます。 |

energywise domain

ネットワーク デバイスまたはエンドポイントの Cisco EnergyWise をイネーブルにし、ドメインに割り当て、ドメインのセキュリティ モードを設定し、ドメイン パスワードを設定するには、**energywise domain** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。EnergyWise をディセーブルにし、EnergyWise コンフィギュレーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
energywise domain domain-name security {ntp-shared-secret | shared-secret} [0 | 7]
shared-secret [protocol udp port udp-port-number [interface interface-id | ip ip-address]]
```

```
no energywise domain
```

構文の説明

| | |
|--|---|
| <i>domain-name</i> | 指定した <i>domain-name</i> を持つドメインに、ネットワーク デバイスまたはエンドポイントを割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。 |
| security { ntp-shared-secret shared-secret } [0 7] <i>shared-secret</i> | ドメインのセキュリティ モードと、ドメイン内のすべての通信を認証するためのドメイン パスワードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ntp-shared-secret : ネットワーク タイム プロトコル (NTP) による強力なパスワードを使用します。メンバー間に ±30 秒の時間差があると、ドメイン メンバーまたはエンドポイントはイベントをドロップします。 shared-secret : NTP を使用しない強力なドメイン パスワードを設定します。 (任意) 0 : プレーンテキストのパスワードを使用します。 (任意) 7 : 非表示のパスワードを使用します。 0 と 7 のいずれも入力しない場合は、デフォルト値 0 が使用されます。 <i>shared-secret</i> について <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。 |
| protocol udp port <i>udp-port-number</i> | (任意) 通信プロトコルとして UDP を指定し、ドメインと通信する UDP ポートを指定します。 指定できる範囲は 1 ~ 65000 です。 |
| interface <i>interface-id</i> | (任意) IP アドレスが動的に割り当てられている場合、ドメインと通信するポートを指定します。 <i>interface-id</i> を指定することを推奨します。ブリッジ型ネットワークでは、このコマンドを使用してください。 |
| ip <i>ip-address</i> | (任意) インターフェイスが Switched Virtual Interface (SVI; スイッチ仮想インターフェイス) であり、VLAN トランキンング プロトコル (VTP) プルーニングがイネーブルである場合、ドメインと通信する IP アドレスを指定します。ルーテッド ネットワークでは、このコマンドを使用してください。 |

コマンド デフォルト

EnergyWise はディセーブルになっており、ネットワーク デバイスまたはエンドポイントはドメインに割り当てられません。

ドメイン パスワードは設定されません。

`udp-port-number` は 43440 です。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

| リリース | 最初の EW パー ジョン | 変更内容 |
|--------------|---------------------|---|
| 12.2(33)SX14 | 2 | このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。 |
| 12.2(50)SE | 1 | このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SE | 2 | 次のスイッチで、 <code>secret [0 7] password</code> キーワードが <code>security {ntp-shared-secret shared-secret} [0 7] shared secret</code> キーワードに変わりました。 Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチ。 |
| 12.2(52)SG | 2 | このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(53)SE2 | 2 | このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | Catalyst 4500 スイッチで、 <code>secret [0 7] password</code> キーワードが <code>security {ntp-shared-secret shared-secret} [0 7] shared-secret</code> キーワードに変わりました。 |
| 15.0(1)M2 | 2 | このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第 2 世代サービス統合型ルータ) で導入されました。 |

使用上のガイドライン

`energywise domain domain-name security {ntp-shared-secret | shared-secret} [0 | 7] shared-secret` コマンドを入力すると、ドメイン メンバーは管理ステーションとの通信用に使用可能な最初のポートを選択します。

非表示の（暗号化された）パスワードを設定する場合は、`energywise management security shared-secret 7 mgmt-password [port tcp-port-number]` グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力する前に、`service password-encryption` グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力します。

ドメインを設定する場合は、すべてのドメイン メンバーに対して同じセキュリティ モード (`ntp-shared-secret` または `shared-secret`) を設定したことを確認します。

ドメインで `ntp-share-secret` を使用する場合は、クロックを同期させるためにドメイン メンバーが NTP を実行していることを確認します。NTP を使用しない、あるいはクロックが同期していない場合、一部のドメイン メンバーが検出されない場合があります。

例 次の例では、EnergyWise をイネーブルにし、*domain-name* および *shared-secret* を設定し、IP アドレスを指定する方法を示します。

```
DomainMember# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
DomainMember(config)# service password-encryption
DomainMember(config)# energywise domain cisco security shared-secret cisco protocol udp
port 43440 ip 2.2.4.30
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|-------------------------------|--|
| show energywise | Cisco EnergyWise の設定とステータスを表示します。 |
| show energywise domain | ネットワーク デバイスまたはエンドポイントが属しているドメインを表示します。 |

energywise query

ドメイン メンバーの電源情報を表示し、電力レベルを設定するには、**energywise query** 特権 EXEC コマンドを使用します。

energywise query analyze domain *domain-name*

energywise query importance *importance* {**keywords** *word,word,...* | **name** *name*} **collect** {**delta** | **usage**} [**all** [**timeout** *timeout*] | **consumer** [**timeout** *timeout*] | **meter** [**timeout** *timeout*] | **producer** [**timeout** *timeout*] | **timeout** *timeout*]

energywise query importance *importance* {**keywords** *word,word,...* | **name** *name*} **set level** *level* [**all** [**timeout** *timeout*] | **consumer** [**timeout** *timeout*] | **meter** [**timeout** *timeout*] | **producer** [**timeout** *timeout*] | **timeout** *timeout*]

energywise query importance *importance* {**keywords** *word,word,...* | **name** *name*} **sum** {**delta** | **usage**} [**all** [**timeout** *timeout*] | **consumer** [**timeout** *timeout*] | **meter** [**timeout** *timeout*] | **producer** [**timeout** *timeout*] | **timeout** *timeout*]

energywise query importance *importance* {**keywords** *word,word,...* | **name** *name*} **wol mac** *mac-address* [**password** *password* | **port** *tcp-port-number* [**password** *password*]

構文の説明

| | |
|--|---|
| analyze domain <i>domain-name</i> | ドメインのサイズやメンバーとエンドポイントの数など、ドメインについての情報を分析して表示するためのクエリーを実行します。 |
| importance <i>importance</i> | 重要度の値が、指定した値以下であるドメイン メンバーまたはエンドポイントだけが、クエリーに応答します。 <i>importance</i> の範囲は 1 ~ 100 です。 |
| keywords <i>word,word,...</i> | 1 つ以上のキーワードに基づいて結果をフィルタリングします。 複数のキーワードを指定するときは、各キーワードをカンマで区切ります。キーワード間にスペースを使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。 |
| name <i>name</i> | 名前に基づいて結果をフィルタリングします。ワイルドカードを使用する場合は、* を使用するか、または <i>name*</i> のように名前のフレーズの末尾にアスタリスクを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 英数字と、#、(、\$、!、& などの記号を入力できます。 文字または記号の間にアスタリスク (*) や空白を入力しないでください。 |
| collect { delta usage } | ドメイン メンバーとエンドポイントからの電力消費量情報をワット (W) 単位で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> delta : 仮定 (what-if) 計算用に電力レベルごとの実際の電力消費量と最大電力消費量の差と一緒に、デルタ ベクトルを表示します。 usage : 実際の電力消費量を表示します。 |
| all | (任意) すべての消費タイプの EnergyWise デバイスを表示します。 |
| timeout <i>timeout</i> | (任意) 管理ステーションがクエリーの結果を待機する秒数を設定します。 指定できる範囲は 1 ~ 180 です。 <i>timeout</i> を設定するときは、正しい出力を表示するために最小 6 秒を設定します。 |

| | |
|----------------------------|--|
| consumer | (任意) 電力を消費するデバイス (スイッチなど) が表示されるように結果をフィルタリングします。これがデフォルトの消費タイプです。 |
| meter | (任意) パススルー電力を測定するデバイス (接続されたデバイスに電源から電力を送信する PDU など) が表示されるように結果をフィルタリングします。 |
| producer | (任意) 電力を生成するデバイス (ソーラー パネルなど) が表示されるように結果をフィルタリングします。 |
| set level level | PoE ポートを含む、ドメイン メンバーまたはエンドポイントの電力レベルを設定します。 指定できる範囲は 0 ~ 10 です。 |
| sum {delta usage} | ドメイン メンバーおよびエンドポイントからの電力消費量情報の要約を表示します。 <ul style="list-style-type: none">• delta : デルタ ベクトルを表示します。• usage : 実際の電力消費量を表示します。 |
| wol mac mac-address | MAC アドレスに基づいて結果をフィルタリングし、一致した MAC アドレスを持つデバイスの電源のみを投入します。 |
| password password | (任意) WoL-enabled エンドポイントに設定される WoL パスワードを指定します。パスワードの長さは、6 文字です。 |
| port port-number | (任意) WoL-enabled エンドポイントが WoL パケットをリスンするポート番号を指定します。 |

コマンドデフォルト

timeout 値は 6 秒です。
port-number は 7 です。
消費タイプは **consumer** です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 最初の EWバージョン | 変更内容 |
|--------------|-------------|--|
| 12.2(33)SX14 | 2 | このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。 |
| 12.2(50)SE | 1 | このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SE | 2 | timeout timeout キーワードは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチに追加されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(53)SE2 | 2 | このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | timeout timeout キーワードは、Catalyst 4500 スイッチに追加されました。 |
| 12.2(55)SE | 2.6 | デフォルトの timeout 値が 3 秒から 6 秒に変更されました。 |

| リリース | 最初の EW バージョン | 変更内容 |
|------------|--------------|--|
| 12.2(58)SE | 2.7 | wol mac mac-address 、 port port-number 、 password password 、 analyze domain domain-name キーワードは、Catalyst 3750-X、3750-E、3750、3560-X、3560-E、3560、および 2960 スイッチに追加されました。 |
| 15.0(1)M2 | 2 | このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第 2 世代サービス統合型ルータ) で導入されました。 |



使用上のガイドライン

注意

このクエリーを使用する際は、十分注意してください。このクエリーは、コマンドの入力対象のドメインメンバーと、クエリー条件に一致する他のドメインメンバーおよびエンドポイントに影響を及ぼします。

energywise query importance 特権 EXEC コマンドの *timeout* 値が短すぎると、ドメインメンバーおよびエンドポイントがクエリーに応答するとき、管理ステーションはクエリー結果を受信しません。たとえば、特定の電話機の電源を切断する場合、**energywise query importance** コマンドの *timeout* 値が短すぎると、その電話機の電源は切断されません。*timeout* を設定するときは、正しい出力を表示するために最小 6 秒を設定します。

クエリーを **keywords *** を使用して実行しないでください。結果が生成されません。

WoL マジック パケットの送信時にデバイスの場所が不明である場合は、**energywise query importance 100 name * wol mac mac-address** コマンドを使用して、パケットをすべてのドメインメンバーに送信します。

例

次の例では、名前を基準にフィルタを適用する方法を示します。

```
DomainMember# energywise query importance 50 name phone* collect usage
EnergyWise query, timeout is 6 seconds:
```

| Host | Name | Usage | Level | Imp |
|----------|--------|----------|-------|-----|
| 2.2.2.21 | phone | 0.0 (W) | 10 | 1 |
| 2.2.2.21 | phone | 15.4 (W) | 10 | 1 |
| 2.2.2.21 | phoneA | 0.0 (W) | 10 | 1 |
| 2.2.2.22 | phone | 0.0 (W) | 10 | 1 |
| 2.2.2.21 | phoneB | 0.0 (W) | 10 | 1 |
| 2.2.2.22 | phoneC | 15.4 (W) | 10 | 1 |
| 2.2.2.21 | phone | 0.0 (W) | 10 | 1 |
| 2.2.2.23 | phoneD | 15.4 (W) | 10 | 1 |
| 2.2.2.21 | phone | 0.0 (W) | 10 | 1 |

Queried: 9 Responded: 9 Time: 0.26 seconds

```
DomainMember# energywise query importance 80 name * sum usage
EnergyWise query, timeout is 6 seconds:
```

```
Total Usage
-----
346.3 (W)
Queried: 147    Responded: 147    Time: 0.121 seconds
```

```

DomainMember# energywise query importance 90 name lobby* collect usage
EnergyWise query, timeout is 6 seconds:
Host              Name                      Usage          Level    Imp
----              -
2.2.4.30          lobbyInterface.17          10.0 (W)      10      1
2.2.6.20          lobbypc.17                 200.0 (W)     8       90
Queried: 2      Responded: 2      Time: 0.7 seconds
DomainMember# energywise query importance 900 name Fal.0.4* sum usage
EnergyWise query, timeout is 6 seconds:
Total Usage
-----
129.0 (W)
Queried: 10      Responded: 10      Time: 0.6 seconds

```

次の例では、ドメインでのデルタ値の要約および電力変化の可能性を示します。

```

DomainMember# energywise query importance 90 name * collect delta
EnergyWise query, timeout is 6 seconds:
Level  Label          Delta Power (W)
-----  -
0      Shut            -12.9
1      Hibernate       +723.8
2      Sleep           +723.8
3      Standby         +723.8
4      Ready           +723.8
5      Low             +723.8
6      Frugal          +723.8
7      Medium          +723.8
8      Reduced         +723.8
9      High            +723.8
10     Full            +723.8
Queried: 48      Responded: 48      Time: 0.15 seconds

```

次の例では、すべてのドメインメンバーおよびエンドポイントの電力レベルを変更する方法を示します。

```

DomainMember# energywise query importance 90 name * set level 0
EnergyWise query, timeout is 6 seconds:
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
Success rate is (48/48) setting entities
Queried: 48      Responded: 48      Time: 0.996 seconds

DomainMember# energywise query importance 90 name * set level 10
EnergyWise query, timeout is 6 seconds:
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
Success rate is (48/48) setting entities
Queried: 48      Responded: 48      Time: 0.996 seconds

```

次の例は、キーワードを使用して結果をフィルタリングする方法を示します。

```

DomainMember(config)# interface gigabitethernet0/2
DomainMember(config-if)# energywise keywords lobby,sattelite
DomainMember(config-if)# energywise keywords public
DomainMember(config-if)# end
DomainMember# show running-config interface gigabitethernet0/2
interface GigabitEthernet0/2
energywise level 0 recurrence importance 90 at 0 8 * * *
energywise level 10 recurrence importance 90 at 0 20 * * *
energywise importance 50
energywise role role.lobbyaccess
energywise keywords lobby,sattelite,public
energywise name lobbyInterface.2

```

energywise query

```
end
```

```
DomainMember# energywise query importance 90 keyword lobby collect usage
EnergyWise query, timeout is 6 seconds:
```

| Host | Name | Usage | Level | Imp |
|----------|-------------------|-----------|-------|-----|
| 2.2.4.30 | lobbyInterface.17 | 15.4 (W) | 10 | 1 |
| 2.2.5.30 | pc.1 | 200.0 (W) | 8 | 85 |
| 2.2.6.30 | pc.2 | 200.0 (W) | 8 | 85 |

```
Queried: 3   Responded: 3   Time: 1.1 seconds
```

```
DomainMember# energywise query importance 90 keyword lobby sum usage
EnergyWise query, timeout is 6 seconds:
```

```
Total Usage
-----
415.4 (W)
```

```
Queried: 3   Responded: 3   Time: 0.11 seconds
```

次の例では、宛先指定された WoL マジック パケットを送信する方法を示します。

```
Queried: 148   Responded: 148   Time: 5.119 seconds
DomainMember# energywise query importance 100 keyword PC wol mac 0123.4567.89ab
EnergyWise query, timeout is 6 seconds:
Success rate is (1/1) setting entities
Queried: 1   Responded: 1   Time: 4.31 seconds
```

show energywise

EnergyWise の設定、ドメイン メンバーのステータス、およびドメイン メンバー ポートと接続しているエンドポイントのステータスを表示するには、**show energywise** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show energywise [categories | children [provisioned] | domain | events | level [children | current
[children] | delta [children] ] | neighbors | proxies | recurrences | statistics | usage [children]
| version]
```

構文の説明

| | |
|--|--|
| categories | (任意) 電力レベルを表示します。 |
| children [provisioned] | (任意) 接続しているエンドポイントのステータスを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> provisioned : ドメイン メンバーおよび接続しているエンドポイントに関する EnergyWise 情報の要約を表示します。 |
| domain | (任意) ドメインの名前、ドメイン名、プロトコル、IP アドレス、および UDP ポートを表示します。 |
| events | (任意) ドメイン内の他のメンバーに送信されたイベント (メッセージ) のうちの最新の 10 件を表示します。 |
| level [children current [children] delta [children] | (任意) 実際の電力レベルを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> children : ドメイン メンバーおよび接続しているエンドポイントの実際の電力レベル。 current : ドメイン メンバーの実際の電力レベル。 (任意) children : ドメイン メンバーおよび接続しているエンドポイントの実際の電力レベル。 delta : ドメイン メンバーのデルタ ベクトル。 (任意) children : ドメイン メンバーおよび接続しているエンドポイントのデルタ ベクトル。 |
| neighbors | (任意) ドメイン メンバーのネイバー テーブルを表示します。 |
| proxies | (任意) SNMP プロキシを設定したすべてのインターフェイスを表示します。 |
| recurrences | (任意) 繰り返しイベントに関する EnergyWise の設定とステータスを表示します。 |
| statistics | (任意) イベントおよびエラーのカウントを表示します。 |
| usage [children] | (任意) ドメイン メンバーの実際の電力を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> children : ドメイン メンバーおよび接続しているエンドポイントの実際の電力を表示します。 |
| version | (任意) EnergyWise のバージョンを表示します。 |

コマンドモード

特権 EXEC

■ show energywise

コマンド履歴

| リリース | 最初の EWバージョン | 変更内容 |
|--------------|-------------|--|
| 12.2(33)SX14 | 2 | このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。 |
| 12.2(50)SE | 1 | このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SE | 2 | children provisioned キーワードは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチに追加されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(53)SE2 | 2 | このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | children provisioned キーワードは、Catalyst 4500 スイッチに追加されました。 |
| 15.0(1)M2 | 2 | このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第2世代サービス統合型ルータ) で導入されました。 |
| 15.0(2)SE | 2.8 | proxies キーワードは、Catalyst 2900、3500、および 3700 スイッチに追加されました。特定のデバイスについては、『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Version 2.8』を参照してください。 |

例

```
DomainMember# show energywise
Module/Interface  Role           Name           Usage          Category  Lvl  Imp  Type
-----
WS-C3560G-48PS   NRGYZ-TB-09   130.0 (W)     consumer       10        1    module
```

表 3-1 show energywise フィールドの説明

| 文字 | 説明 |
|-------------------|----------------------|
| Module/ Interface | モジュールまたはインターフェイスの ID |
| Role | ドメイン メンバーのロール |
| Name | ドメイン メンバーの名前 |
| Usage | ワット (W) 単位の電力消費量 |
| Category | ドメイン メンバーの消費タイプ |
| Lvl | ドメイン メンバーの電力レベル |
| Imp | ドメイン メンバーの重要度 |
| Type | ドメイン メンバーのデバイス タイプ |

```
DomainMember# show energywise children
Module/Interface  Role           Name           Usage          Category  Lvl  Imp  Type
-----
WS-C3560G-48PS   NRGYZ-TB-11   130.0 (W)     consumer       10        1    parent
Gi0/1             Endpoint      saturn-lnx1    100.0 (W)     consumer    10    1    endpoint
Gi0/5             IP Phone 7960  SEP0003E3864795  6.3 (W)     consumer    10    1    PoE
Gi0/11            IP Phone 7970  SEP00192FB9CAA5  6.3 (W)     consumer    10    1    PoE
Gi0/12            Xerox WorkCentre Printer_Floor1_Lobby  300.0 (W)   consumer    10    1    proxy
Subtotals: (Consumer: 542.6 (W), Meter: 0.0 (W), Producer: 0.0 (W))
```


Total: 542.6 (W), Count: 5

DomainMember# show energywise children provisioned

| Module/Interface | Role | Name | Usage | Category | Lvl | Imp | Type |
|------------------|----------------|-------------|-----------|----------|-----|-----|--------|
| ----- | ---- | ---- | ----- | ----- | --- | --- | ---- |
| | WS-C3560G-48PS | NRGYZ-TB-09 | 130.0 (W) | consumer | 10 | 1 | module |
| Gi0/1 | interface | Gi0.1 | 0.0 (W) | consumer | 10 | 1 | PoE |
| Gi0/2 | interface | Gi0.2 | 0.0 (W) | consumer | 10 | 1 | PoE |
| Gi0/3 | interface | Gi0.3 | 0.0 (W) | consumer | 10 | 1 | PoE |
| Gi0/4 | interface | Gi0.4 | 0.0 (W) | consumer | 10 | 1 | PoE |
| Gi0/5 | interface | Gi0.5 | 0.0 (W) | consumer | 10 | 1 | PoE |
| Gi0/6 | interface | Gi0.6 | 0.0 (W) | consumer | 10 | 1 | PoE |
| Gi0/7 | interface | Gi0.7 | 0.0 (W) | consumer | 10 | 1 | PoE |
| Gi0/8 | interface | Gi0.8 | 0.0 (W) | consumer | 10 | 1 | PoE |
| Gi0/9 | interface | Gi0.9 | 0.0 (W) | consumer | 10 | 1 | PoE |

<output truncated>

Total Displayed: 48 Usage: 145.3

DomainMember# show energywise domain

```
Name      : Manager-1
Domain    : cisco
Protocol  : udp
IP        : 2.2.2.21
Port      : 43440
```

表 3-2 show energywise domain フィールドの説明

| 文字 | 説明 |
|----------|--------------|
| Name | ドメイン メンバーの名前 |
| Domain | ドメイン名 |
| Protocol | 通信プロトコル |
| IP | IP アドレス |
| Port | ドメインと通信するポート |

DomainMember# show energywise events

```
-----
Sequence: 343550446 Priority: 100 References: 0:1 Errors:
Class:    PN_CLASS_DISCOVERY
Action:   PN_ACTION_CPQR_POWERNET_DISCOVERY_DISCOVERY_UPDATE
Reply To: 2.2.2.10:43440
-----
```

```
Sequence: 345394888 Priority: 100 References: 0:1 Errors:
Class:    PN_CLASS_DISCOVERY
Action:   PN_ACTION_CPQR_POWERNET_DISCOVERY_DISCOVERY_UPDATE
Reply To: 2.2.2.10:43440
-----
```

```
Sequence: 343550449 Priority: 100 References: 0:1 Errors:
Class:    PN_CLASS_DISCOVERY
Action:   PN_ACTION_CPQR_POWERNET_DISCOVERY_DISCOVERY_UPDATE
Reply To: 2.2.2.10:43440
-----
```

```
Sequence: 345394889 Priority: 100 References: 0:1 Errors:
Class:    PN_CLASS_DISCOVERY
Action:   PN_ACTION_CPQR_POWERNET_DISCOVERY_DISCOVERY_UPDATE
Reply To: 2.2.2.10:43440
-----
```

```
Sequence: 343550450 Priority: 100 References: 0:1 Errors:
Class:    PN_CLASS_DISCOVERY
Action:   PN_ACTION_CPQR_POWERNET_DISCOVERY_DISCOVERY_UPDATE
-----
```

■ show energywise

<output truncated>

表 3-3 show energywise events フィールドの説明

| 文字 | 説明 |
|----------|------------------------|
| Sequence | EnergyWise イベントシーケンス番号 |
| Class | EnergyWise イベントクラス |
| Action | EnergyWise イベントアクション |
| Reply to | イベントが発信された IP アドレス |

DomainMember# show energywise level

| Interface | Name | Levels (Watts) | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | NRGYZ-TB-09 | 0.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 |
| Gi0/27 | SEP001201D75BB9 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/41 | ap | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |

DomainMember# show energywise level children

| Interface | Name | Levels (Watts) | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | NRGYZ-TB-09 | 0.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 390.0 | 90.0 |
| Gi0/1 | Gi0.1 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/2 | Gi0.2 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/3 | Gi0.3 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/4 | Gi0.4 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/5 | Gi0.5 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/6 | Gi0.6 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/7 | Gi0.7 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/8 | Gi0.8 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |

<output truncated>

DomainMember# show energywise level current

| Interface | Name | Level | Value |
|-----------|-----------------|-------|-----------|
| | NRGYZ-TB-09 | 10 | 390.0 (W) |
| Gi0/27 | SEP001201D75BB9 | 10 | 15.4 (W) |
| Gi0/41 | ap | 10 | 15.4 (W) |

DomainMember# show energywise level current children

| Interface | Name | Level | Value |
|-----------|-------------|-------|-----------|
| | NRGYZ-TB-09 | 10 | 390.0 (W) |
| Gi0/1 | Gi0.1 | 10 | 15.4 (W) |
| Gi0/2 | Gi0.2 | 10 | 15.4 (W) |
| Gi0/3 | Gi0.3 | 10 | 15.4 (W) |
| Gi0/4 | Gi0.4 | 10 | 15.4 (W) |
| Gi0/5 | Gi0.5 | 10 | 15.4 (W) |
| Gi0/6 | Gi0.6 | 10 | 15.4 (W) |
| Gi0/7 | Gi0.7 | 10 | 15.4 (W) |
| Gi0/8 | Gi0.8 | 10 | 15.4 (W) |
| Gi0/9 | Gi0.9 | 10 | 15.4 (W) |
| Gi0/10 | Gi0.10 | 10 | 15.4 (W) |

<output truncated>

DomainMember# show energywise level delta

| | | Levels (Watts) | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| Interface | Name | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| NRGYZ-TB-09 | | -130.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 |
| Gi0/27 | SEP001201D75BB9 | -6.3 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 9.1 |
| Gi0/41 | ap | -9.0 | 6.4 | 6.4 | 6.4 | 6.4 | 6.4 | 6.4 | 6.4 | 6.4 | 6.4 | 6.4 |

DomainMember# show energywise level delta children

| | | Levels (Watts) | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| Interface | Name | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | NRGYZ-TB-09 | -130.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 | 260.0 |
| Gi0/1 | Gi0.1 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/2 | Gi0.2 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/3 | Gi0.3 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/4 | Gi0.4 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/5 | Gi0.5 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/6 | Gi0.6 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/7 | Gi0.7 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |
| Gi0/8 | Gi0.8 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 | 15.4 |

<output truncated>

DomainMember# show energywise neighbors

Capability Codes: R - Router, T - Trans Bridge, B - Source Route Bridge
S - Switch, H - Host, I - IGMP, r - Repeater, P - Phone, U - Unknown

| Id | Neighbor Name | Ip:Port | Prot | Capability |
|----|---------------|-----------------|------|------------|
| 1 | Router A | 10.0.0.11:43440 | udp | R |
| 2 | Switch A | 10.0.0.12:43440 | cdp | S I |
| 3 | Router B | 10.0.0.36:43440 | cdp | U |
| 4 | IP_phone A | 10.0.0.14:43440 | udp | U |
| 5 | Switch B | 10.0.0.4:43440 | udp | R |
| 6 | Switch C | 10.0.0.5:43440 | udp | R |
| 7 | Router C | 10.0.0.7:43440 | udp | R |

表 3-4 show energywise neighbors フィールドの説明

| 文字 | 説明 |
|---------------|---------------------|
| Id | ネイバー ID |
| Neighbor Name | 隣接ドメインメンバーの名前 |
| Ip: Port | ネイバー IP アドレスおよびポート |
| Prot | ネイバーが検出されたプロトコル |
| Capability | デバイス機能コードを参照してください。 |

DomainMember# show energywise proxies

| Interface | Host | Role | Name | Protocol | Mapping |
|-----------|--------------|------------------|----------------------|----------|---------|
| Gi0/12 | 2.2.2.11:161 | Xerox Workcentre | Printer_Floor1_Lobby | snmp v2c | Xerox |
| Gi0/13 | 2.2.2.12:161 | Xerox Workcentre | Printer_Floor2_Lobby | snmp v2c | Xerox |
| Gi0/14 | 2.2.2.20:161 | Ricoh | Printer_Floor3_Lobby | snmp v2c | Ricoh |

■ show energywise

energywise level level recurrence importance importance at minute hour day_of_month month day_of_week インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用する場合：

```
DomainMember# show energywise recurrences
Id      Interface  Class Action Lvl Cron/Time-range
-----
1       Gi0/1      QUERY SET   10 minutes: 34 hour: 6 day: * month: * weekday:*
```

energywise level level recurrence importance importance time-range time-range-name インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用する場合：

```
DomainMember# show energywise recurrences
Id      Addr      Class Action Lvl Cron/Time-range
-----
1       Gi0/1     QUERY SET   10 tt-range
2       Gi0/2     QUERY SET   10 periodicdaily
4       Gi0/3     QUERY SET   10 absolutestart06:34**2009
```

表 3-5 show energywise recurrences フィールドの説明

| 文字 | 説明 |
|------------------|----------------------------------|
| Id | 繰り返し ID |
| Addr | 繰り返し設定インターフェイス |
| Class | 繰り返しイベント クラス |
| Action | 繰り返しイベント アクション |
| Lvl | 繰り返しイベントによって設定される EnergyWise レベル |
| Cron/ Time-range | cron 形式の繰り返しイベント/繰り返しイベントの時間範囲名 |

```
DomainMember# show energywise statistics
Children: 2 Errors: 0 Drops: 3 Events: 3256
```

```
DomainMember# show energywise usage
Interface  Name          Usage      Category  Caliber
-----
          NRGYZ-TB-09   130.0 (W)  consumer  max
Gi0/27    SEP001201D75BB9  6.3 (W)   consumer  trusted
Gi0/41    ap             9.0 (W)   consumer  trusted
```

```
Total Displayed: 3      Usage: 145.3
```

表 3-6 show energywise usage フィールドの説明

| 文字 | 説明 |
|-----------|------------------|
| Interface | インターフェイス ID |
| Name | ドメイン メンバーの名前 |
| Usage | ワット (W) 単位の電力消費量 |
| Category | ドメイン メンバーの消費タイプ |
| Caliber | 電力消費量の調整 |

```

DomainMember# show energywise usage child
Interface  Name          Usage          Category  Caliber
-----
NRGYZ-TB-09      130.0 (W)    consumer    max
Gi0/1          Gi0.1        0.0 (W)     consumer  presumed
Gi0/2          Gi0.2        0.0 (W)     consumer  presumed
Gi0/3          Gi0.3        0.0 (W)     consumer  presumed
Gi0/4          Gi0.4        0.0 (W)     consumer  presumed
Gi0/5          Gi0.5        0.0 (W)     consumer  presumed
Gi0/6          Gi0.6        0.0 (W)     consumer  presumed
Gi0/7          Gi0.7        0.0 (W)     consumer  presumed
Gi0/8          Gi0.8        0.0 (W)     consumer  presumed
Gi0/9          Gi0.9        0.0 (W)     consumer  presumed

```

<output truncated>

Total Displayed: 48 Usage: 145.3

```

DomainMember# show energywise version
EnergyWise is Enabled
IOS Version: 12.2(n)xx
EnergyWise Specification: (rel2_7)n.0.n

```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|--|---------------------------------------|
| energywise (グローバル コンフィギュレーション) | ドメイン メンバーで EnergyWise をイネーブルにして設定します。 |
| energywise (インターフェイス コンフィギュレーション) | PoE ポート上で EnergyWise を設定します。 |

snmp-server enable traps energywise

ドメイン メンバーで EnergyWise トラップまたはネットワーク管理システム (NMS) に情報を要求する簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知を送信するには、**snmp-server enable traps energywise** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server enable traps energywise [event-occured] [level-change] [neighbor-added]
[neighbor-deleted]
```

```
no snmp-server enable traps energywise [event-occured] [level-change] [neighbor-added]
[neighbor-deleted]
```

構文の説明

| | |
|-------------------------|--|
| event-occured | (任意) EnergyWise のイベント トラップをイネーブルにします。 |
| level-change | (任意) EnergyWise の電力レベル変化トラップをイネーブルにします。 |
| neighbor-added | (任意) ネイバーが追加されると EnergyWise のトラップをイネーブルにします。 |
| neighbor-deleted | (任意) ネイバーが削除されると EnergyWise のトラップをイネーブルにします。 |

コマンド デフォルト

EnergyWise のトラップ送信はディセーブルです。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

| リリース | 最初の EW バージョン | 変更内容 |
|--------------|-----------------|---|
| 12.2(33)SX14 | 2 | このコマンドは、Catalyst 6500 スイッチで導入されました。特定のデバイスについては、『 <i>Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2</i> 』を参照してください。 |
| 12.2(50)SE | 1 | このコマンドは、Catalyst 3750-E、3750、3560-E、3560、および 2960 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(52)SG | 2 | このコマンドは、Catalyst 4500 スイッチで導入されました。 |
| 12.2(53)SE2 | 2 | このコマンドは、Catalyst 3750-X および 3560-X スイッチで導入されました。 |
| 15.0(1)M2 | 2 | このコマンドは、Cisco 3900、2900、および 1900 ISR を含む Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2; 第2世代サービス統合型ルータ) で導入されました。 |

使用上のガイドライン

トラップを受信するホスト (Network Management System (NMS; ネットワーク管理システム)) を指定するには、**snmp-server host** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。

キーワードを指定しないと、EnergyWise のトラップすべてがイネーブルになります。

show energywise または **show running-config** 特権 EXEC コマンドを入力すると設定を確認できます。

例

EnergyWise ドメイン メンバーが NMS にトラップを送信できるようにするには、次を実行します。

```
DomainMember (config) # snmp-server enable traps energywise
```

EnergyWise ドメイン メンバーが NMS にイベント トラップのみを送信できるようにするには、次を実行します。

```
DomainMember (config) # snmp-server enable traps energywise event-occured
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|----------------------------|-----------------------------|
| show energywise | EnergyWise の設定とステータスを表示します。 |
| show running-config | 動作設定を表示します。 |

■ snmp-server enable traps energywise